

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 036	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 ネギ黒腐菌核病の防除対策確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、普及指導部管内のネギ産地において黒腐菌核病の被害が拡大しており、防除方法の確立が急務である。病害が発生した圃場では、薬剤による防除を行っているが、登録薬剤が少なく、対応に苦慮している。まずは有効な防除薬剤の選定と防除体系の確立が必要である。また、有用微生物入りの土壌改良資材が病害対策として用いられている例があり、それらの有効性についても検証をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産環境部病害虫研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) Ⅲ-1 病害虫の診断同定及び発生生態の解明に基づく予察・防除技術の確立 (1) 診断・同定及び防除技術の確立 カ AI を活用した土壌病害診断技術の開発 (イ) ネギ黒腐菌核病に対するヘソディムの開発	
対応の内容等 ネギ黒腐菌核病は関東を中心に最近多発傾向にある難防除病害と認識しており、昨年からは薬剤と土壌改良資材を併用した防除対策試験を始めました。ネギ黒腐菌核病はネギ属に感染しますが、ネギ属が作付けされていなくても土壌中に数年ほど残留し、土壌中に低密度でも発生します。このため病害が多発しているほ場では薬剤防除だけでなく輪作などの総合的な対策が必要と考えております。他県の共同研究者が簡易検定方法を検討していることから、この方法が確立したら土壌改良資材の効果を検討したいと考えております。	
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内    ④5～10年以内
備考	